



平成26年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成25年10月28日

上場会社名 クラリオン株式会社
 コード番号 6796 URL <http://www.clarion.com>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 社長室 担当部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 泉 龍彦
 (氏名) 中川 淳

TEL 048-601-3700

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	91,498	0.6	939	67.7	668	76.6	90	96.2
25年3月期第2四半期	90,958	13.1	2,912	20.5	2,863	25.7	2,401	39.2

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 1,889百万円 (182.8%) 25年3月期第2四半期 668百万円 (212.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	0.32	
25年3月期第2四半期	8.52	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	120,023	22,613	18.7
25年3月期	117,398	22,002	18.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 22,454百万円 25年3月期 21,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期				0.00	0.00
26年3月期					
26年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	193,000	8.9	3,700	15.2	3,000	9.8	1,400	3.0	4.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) - 、 除外 社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期2Q	282,744,185 株	25年3月期	282,744,185 株
26年3月期2Q	819,362 株	25年3月期	810,521 株
26年3月期2Q	281,930,338 株	25年3月期2Q	281,941,235 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2 . サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3 . 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第 2 四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクスのプラス効果が実体経済に徐々に波及して景気は緩やかに回復しつつあり、輸出や個人消費も持ち直し傾向にあります。海外におきましては、中国や新興国の成長の鈍化はありますが、欧州の底入れ期待と米国の緩やかな拡大継続があり、世界経済全体では好不調の格差は見られますが緩やかな回復が続いております。

当社グループの関連する自動車業界は、日本国内では昨秋のエコカー補助金終了後、軽自動車の販売は増加しているものの、全体では依然回復に至っておりません。米国での新車販売は引き続き好調を維持しておりますが、新興国の成長鈍化等もあり、先行きも不透明な状況にあります。

このような厳しい環境のもと、当社はグローバル視点での最適地生産等により徹底的なコスト削減を図り、企業体質の強化を推進するとともに、「つながる製品」「安心・安全」を中心とした付加価値の創出により、売上・収益の拡大に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間における連結業績の概要は次のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間においては、国内での新車販売の前年同期比減少等マイナス要因はありましたものの、円安基調継続による為替変動を受けての増収影響もあり、売上高は前年同期比0.6%増収の914億98百万円となりました。一方、海外生産による仕入コストの増加、先行開発費負担の増加等により、営業利益は前年同期比67.7%減益の9億39百万円となりました。経常利益は前年同期比76.6%減益の6億68百万円、四半期純利益は前年同期比96.2%減益の90百万円となりました。第1四半期連結会計期間には売上不振等により損失の計上となりましたが、第2四半期連結会計期間に入り売上の回復、各種対策の効果等により収益は大きく改善しております。

セグメント別の業績概要は次のとおりであります。各セグメントの売上高は外部顧客に対する売上高を記載しており、各セグメントの利益又は損失は、営業利益又は損失であります。

(日本)

当セグメントの売上高は、前年同期比2.9%減収の477億77百万円、営業損失は1億48百万円（前年同期は21億25百万円の営業利益）となりました。

昨秋のエコカー補助金終了の反動減は一巡した感があるものの、4～9月の国内新車販売台数は前年同期比約7%の減少でありました。減収の主要因はOEM（相手先ブランドによる生産）市場向けの売上が大きく減少したこと等によりです。

経費抑制に努めましたものの、減収により営業損失計上となりました。

(米州)

当セグメントの売上高は、前年同期比2.8%減収の287億25百万円、営業利益は12.0%減益の6億54百万円となりました。

米国における新車販売台数は、雇用環境の改善を背景に好調さを継続しております。また、中南米子会社のEMS（電子機器受託製造サービス）事業の売上高も好調に推移しております。しかしながら、米国における大口顧客のモデルイヤー切替による高価格製品の販売が終了となったこと等により、為替変動による増収影響はありましたものの、減収となりました。営業利益は、減収により減益となりました。

(欧州)

当セグメントの売上高は、前年同期比12.4%増収の56億12百万円、営業利益は404.2%増益の97百万円となりました。

欧州経済は依然低迷を続けており、一部に回復の兆しはあるものの、先行き不透明な状況です。こうした経済環境において、前年同期比約30%のユーロ高影響、EMS事業の新規受注もあり、売上高は増収となりました。営業利益は増収により増益となりました。

(アジア・豪州)

当セグメントの売上高は、前年同期比30.3%増収の93億82百万円、営業利益は148.6%増益の3億44百万円となりました。

中国では日本車販売不振の影響が残るものの、タイヤインドでのOEM市場向けを中心として売上高が伸びました。営業利益は、増収により増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、総資産が1,200億23百万円であり、前連結会計年度末より26億24百万円増加いたしました。このうち、流動資産については、660億46百万円であり、前連結会計年度末より3億48百万円減少いたしました。これは、主にたな卸資産、受取手形及び売掛金が増加したことに対し、その他の流動資産が減少したことによるものです。固定資産は、合計で29億73百万円増加いたしました。これは、主に投資その他の資産が22億27百万円増加していることによるものです。

負債につきましては、974億9百万円であり、前連結会計年度末より20億13百万円増加いたしました。主に改訂退職給付基準の早期適用により、退職給付に係る負債（前連結会計年度は退職給付引当金）が増加していることによるものです。

純資産につきましては226億13百万円であり、前連結会計年度末より6億10百万円増加いたしました。改訂退職給付基準の早期適用により、退職給付に係る調整累計額を7億85百万円計上いたしました。四半期純利益の計上、円安影響により為替換算調整勘定が10億69百万円増加したこと等によるものです。この結果、自己資本比率は18.7%となり、前連結会計年度末より0.1ポイント増加いたしました。

(連結キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物残高は、64億69百万円（前年同期末残高は110億55百万円）となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローにつきましては、たな卸資産の増加はありましたものの、減価償却費等の計上により20億57百万円の収入（前年同期は42億47百万円の収入）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローにつきましては、有形固定資産及び無形固定資産の取得等により8億29百万円の支出（前年同期は41億72百万円の支出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローにつきましては、リース債務の返済等により5億15百万円の支出（前年同期は1億27百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想に関しましては、平成25年5月8日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理

税金費用につきましては、主に当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

連結の範囲に関する事項の変更

連結の範囲の変更

第1四半期連結会計期間より、Clarion India Pvt. Ltd.を新たに設立し連結子会社としております。

変更後の連結子会社の数

20社

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日）が平成25年4月1日以後開始する連結会計年度の期首から適用できることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間よりこれらの会計基準等を適用し、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上する方法に変更し、未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用を退職給付に係る負債に計上しました。また、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更したほか、割引率の算定方法も変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務から年金資産の額を控除した額を退職給付に係る負債として計上したことに伴う影響額をその他の包括利益累計額の退職給付に係る調整累計額に加減しております。また、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を当第2四半期連結累計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首のその他の包括利益累計額が892百万円減少し、利益剰余金が342百万円減少しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,565	6,469
受取手形及び売掛金	26,944	28,161
商品及び製品	11,599	13,178
仕掛品	1,215	1,449
原材料及び貯蔵品	7,385	7,887
その他	13,872	9,066
貸倒引当金	186	166
流動資産合計	66,395	66,046
固定資産		
有形固定資産	25,767	25,566
無形固定資産		
のれん	3,652	3,194
ソフトウェア	14,185	15,486
その他	1,164	1,269
無形固定資産合計	19,001	19,949
投資その他の資産	6,233	8,460
固定資産合計	51,003	53,976
資産合計	117,398	120,023
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,402	23,079
短期借入金	8,662	12,574
未払法人税等	727	898
賞与引当金	1,842	1,997
製品保証引当金	463	548
その他	14,454	14,780
流動負債合計	49,553	53,879
固定負債		
長期借入金	32,148	28,120
役員退職慰労引当金	169	129
製品保証引当金	414	407
退職給付引当金	10,126	-
退職給付に係る負債	-	11,277
その他	2,983	3,595
固定負債合計	45,842	43,530
負債合計	95,395	97,409

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,100	26,100
資本剰余金	2,669	2,669
利益剰余金	1,444	1,696
自己株式	126	127
株主資本合計	27,198	26,945
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	947	1,575
繰延ヘッジ損益	0	6
土地再評価差額金	1,019	1,019
為替換算調整勘定	7,363	6,294
退職給付に係る調整累計額	-	785
その他の包括利益累計額合計	5,395	4,491
少数株主持分	200	159
純資産合計	22,002	22,613
負債純資産合計	117,398	120,023

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
売上高	90,958	91,498
売上原価	76,279	78,495
売上総利益	14,679	13,002
販売費及び一般管理費	11,767	12,063
営業利益	2,912	939
営業外収益		
受取利息	36	35
受取配当金	13	19
持分法による投資利益	81	39
その他	182	178
営業外収益合計	313	272
営業外費用		
支払利息	205	184
為替差損	7	212
その他	148	145
営業外費用合計	362	542
経常利益	2,863	668
特別利益		
固定資産売却益	63	14
補助金収入	28	29
その他	0	-
特別利益合計	93	43
特別損失		
固定資産売却損	5	0
固定資産除却損	14	5
事務所移転費用等	-	15
その他	0	-
特別損失合計	19	21
税金等調整前四半期純利益	2,936	691
法人税、住民税及び事業税	709	677
法人税等調整額	172	78
法人税等合計	537	599
少数株主損益調整前四半期純利益	2,398	92
少数株主利益又は少数株主損失 ()	2	1
四半期純利益	2,401	90

(四半期連結包括利益計算書)
(第 2 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,398	92
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	147	627
繰延ヘッジ損益	3	6
土地再評価差額金	5	-
為替換算調整勘定	1,538	1,074
退職給付に係る調整額	-	106
持分法適用会社に対する持分相当額	53	4
その他の包括利益合計	1,730	1,797
四半期包括利益	668	1,889
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	681	1,887
少数株主に係る四半期包括利益	13	1

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,936	691
減価償却費	3,195	4,004
のれん償却額	457	457
持分法による投資損益(は益)	81	39
貸倒引当金の増減額(は減少)	11	25
賞与引当金の増減額(は減少)	84	150
退職給付引当金の増減額(は減少)	6	-
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	-	366
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	25	39
製品保証引当金の増減額(は減少)	69	62
受取利息及び受取配当金	49	54
支払利息	205	184
為替差損益(は益)	24	120
固定資産売却損益(は益)	58	13
固定資産除却損	14	5
売上債権の増減額(は増加)	4,197	499
たな卸資産の増減額(は増加)	779	1,904
仕入債務の増減額(は減少)	4,187	934
その他	2,477	12
小計	5,067	2,303
利息及び配当金の受取額	73	165
利息の支払額	203	186
法人税等の支払額	689	224
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,247	2,057
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,318	1,325
有形固定資産の売却による収入	196	40
無形固定資産の取得による支出	3,093	3,576
投資有価証券の取得による支出	14	16
投資有価証券の売却による収入	24	31
貸付けによる支出	8,960	18,941
貸付金の回収による収入	9,992	22,958
定期預金の払戻による収入	-	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,172	829
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	8,000
長期借入金の返済による支出	149	8,156
リース債務の返済による支出	253	280
自己株式の取得による支出	0	1
少数株主への配当金の支払額	-	77
セール・アンド・リースバックによる収入	276	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	127	515
現金及び現金同等物に係る換算差額	503	193
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	555	905
現金及び現金同等物の期首残高	11,610	5,564
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,055	6,469

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州	欧州	アジア・ 豪州	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	49,217	29,547	4,994	7,199	90,958	-	90,958
セグメント間の内部 売上高又は振替高	21,765	247	105	21,856	43,975	43,975	-
計	70,983	29,795	5,099	29,055	134,934	43,975	90,958
セグメント利益	2,125	743	19	138	3,026	114	2,912

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益であります。また、セグメント利益の調整額 114百万円は、全額セグメント間取引消去であり、四半期連結損益計算書計上額と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本	米州	欧州	アジア・ 豪州	合計		
売上高							
外部顧客への売上高	47,777	28,725	5,612	9,382	91,498	-	91,498
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,577	2,476	2,032	28,788	52,875	52,875	-
計	67,355	31,201	7,645	38,171	144,374	52,875	91,498
セグメント利益又は損失()	148	654	97	344	948	9	939

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失であります。また、セグメント利益又は損失の調整額 9百万円は、全額セグメント間取引消去であり、四半期連結損益計算書計上額と調整を行っております。